

改定律增加條例註譯

近藤圭造訓註

全

5

和装本

7 13

832



近藤圭造訓註

改定律增加條例註釋

明治八年第一月刻成

明治八年八月五日

改定律增加條例註釋目錄

圖

滯獄罪囚減役例圖

明治七年五月廿五日
太政官第五十七號御布告

名例律

官吏犯公罪條例

同六年八月九日
同二百九十三號御布告

官吏犯公罪條例

同七年四月廿三日
同四十六號御布告

同僚犯公罪條例改正

同六年十二月廿八日
同四百三十四號御布告

給沒贓物條例

同六年七月廿四日
同二百七十號御布告

再犯加等罪例條例

同六年七月廿四日
同二百六十七號御布告

改定律增加條例註釋

目錄

保
892



改定律例第十六條中改正 同七年四月廿三日 同四十三號御布告

改定閏刑律中改定 同七年六月廿四日 同六十九號御布告

官吏犯公罪條例 同七年十一月四日 同百十七號御布告

戶婚律

改定律例第百八條刪除 同七年三月十四日 同二十九號御布告

賊盜律

監守盜條例 同六年七月二十四日 同二百六十七號御布告

監守自盜條例 同六年十月十七日 同三百四十九號御布告

常人盜條例 同六年七月二十四日 同二百六十七號御布告

強盜條例 同六年七月二十四日 同二百六十九號御布告

竊盜條例 同六年七月廿三日 同二百六十六號御布告

盜賊窩主條例 同六年六月廿五日 同二百二十七號御布告

受贓律

官吏受財條例 同六年七月廿日 同二百六十號御布告

詐偽律

偽造寶貨條例 同六年六月 同二百三十一號御布告

偽造斛斗秤尺條例 同六年八月二日 同二百七十九號御布告

犯姦律

犯姦條例 同六年十月十七日 同三百四十九號御布告

犯姦條例 同六年七月廿八日 同二百七十三號御布告

改正居喪犯姦律 同六年七月三十日 同二百七十四號 御布告

雜犯律

失火條例改正 同六年八月十二日 同九十九號 御布告

捕亡律

徒流人逃條改正 同七年二月七日 同十六號 御布告



改定律增加條例註釋

三河 近藤圭造



滯獄罪囚減役例圖

第五十七號 御布告 明治七年五月廿五日

凡懲役十年以下ノ罪人疑難等ニ係リ口供甘結
 後滯獄三十日以外ニ及ブ者ハ並ニ三十日ヲ除
 ク外曠過スル日數ヲ本罪内ニ算入シテ罪ヲ科
 ス其收贖贖罪ニ該ル者ハ本罪日數ヲ金數ニ折
 算シ曠過スル日數ヲ扣除シテ餘ル金數ヲ追徴
 ス若シ滯獄ノ日數本罪ニ過ル者ハ直ニ放免ス

註 十年ヨリ以下ノ罪人ニテ。其罪ヒドク入り込シテ。口供ハ甘結シタル共。滯獄トテ。其後モ出牢セズ。其儘ニテ。懲役ニナル可キ日數ヲ。空シク過キタルモノ。三十日ハ。懲役中ノ日數ニ入ザレバ。其餘ノ日數ハ。割リ入テ懲役シタル分ニナルナリ。收贖ノ贖ヒ料ニテ濟ムベキ者モ。口供甘結ノ後。空シク過シタル日數ハ。右ノ割合ニテ取去ル事トス。若シ又其入牢中ニ。原ノ科ノ日數盡タレバ。其儘ニ免スナリ。

例

| | |
|----------------------------------|---|
| <p>贖罪七十錢 懲役十日 收贖二十五錢</p> | <p>本罪懲役十日ニシテ。一日曠過スル如キ。一日ヲ本罪内ニ算入シテ。罪ヲ科ス。收贖ニ該ル者ハ。十日以上。一日ヲ二錢五厘ニ折算シ。扣除シテ餘ルニ十二錢五厘ヲ追徴ス。贖罪ニ該ル者ハ。一日ヲ七錢五厘ニ折算シ。扣除シテ餘ル六十七錢五厘ヲ追徴ス。以下之ニ準ズ。</p> |
| <p>贖罪一圓五十錢 二十日 收贖五十錢</p> | |

支那法律學叢書

| | | |
|----------|-----|---------|
| 贖罪二圓廿五錢 | 三十日 | 收贖七十五錢 |
| 贖罪三圓 | 四十日 | 收贖一圓 |
| 贖罪三圓七十五錢 | 五十日 | 收贖一圓廿五錢 |

| | | |
|---------|-----|----------|
| 贖罪四圓五十錢 | 六十日 | 收贖一圓五十錢 |
| 贖罪五圓廿五錢 | 七十日 | 收贖一圓七十五錢 |
| 贖罪六圓 | 八十日 | 收贖二圓 |

| | | |
|----------|-----|---------|
| 贖罪六圓七十五錢 | 九十日 | 收贖二圓廿五錢 |
| 贖罪七圓五十錢 | 百日 | 收贖二圓五十錢 |
| 贖罪十五圓 | 一年 | 收贖三圓 |

本罪。懲役一年ニシテ。三十日曠過スル如キ。三十日ヲ本罪内ニ算入シテ。罪ヲ科ス。收贖ニ該ル者ハ。一年以上ハ。一日ヲ八厘ニ折算スルヲ以テ。三十日ヲ二十四錢六厘六毛ニ折算シ。扣除シテ。餘ルニ圓七十五錢三厘ヲ追徴シ。贖罪ニ該ル者ハ。一日ヲ四錢一厘一毛ニ折算スルヲ以テ。三十日ヲ一圓二十三錢三厘ニ折算シ。扣除シテ。餘ル十三圓七錢六厘ヲ追徴ス。以下之ニ準ス。

| | | |
|----------|-----|---------|
| 贖罪廿二圓五十錢 | 一年半 | 收贖四圓五十錢 |
| 贖罪三十圓 | 二年 | 收贖六圓 |
| 贖罪三十七圓五錢 | 二年半 | 收贖七圓五十錢 |

贖罪四十五圓

三年

收贖 九圓

贖罪 六十圓

五年

收贖 十五圓

贖罪 七十圓

七年

收贖 二十一圓

本罪。懲役五年ニシテ。百日曠過スル如キ。百日ヲ本罪内ニ算入シテ。罪ヲ科ス。贖罪ニ該ル者。一日ヲ三錢二厘八八ニ折算スルヲ以テ。百日ヲ三圓二十八錢八厘ニ折算シ。扣除シテ餘ル五十六圓七十一錢二厘ヲ追徵ス。餘之ニ準ス。

本罪。懲役七年ニシテ。二百日曠過スル如キ。二百日ヲ本罪内ニ算入シテ。罪ヲ科ス。贖罪ニ該ル者。一日ヲ二錢七厘四毛ニ折算スルヲ以テ。二百日ヲ五圓四十八錢ニ折算シ。扣除シテ餘ル六十四圓五十二錢ヲ追徵ス。餘之ニ準ス。

贖罪 八十圓

十年

收贖 三十圓

本罪。懲役十年ニシテ。三百日曠過スル如キ。三百日ヲ本罪内ニ算入シテ。罪ヲ科ス。贖罪ニ該ル者。一日ヲ二錢一厘九毛ニ折算スルヲ以テ。三百日ヲ六圓五十七錢六厘ニ折算シ。扣除シテ餘ル七十三圓四十二錢四厘ヲ追徵ス。餘之ニ準ス。

凡華士族破廉耻甚ノ罪ヲ犯シ。本罪。百日以下ハ。滯獄日數ニ拘ハラズ。除族ニ止メ。一年以上ハ。滯獄日數ヲ。本罪内ニ算入シテ。罪ヲ科ス。

註 破廉耻甚ノ罪ハ。賊盜枉法。或ハ部民ノ婦ヲ姦スル等ヲ云フ。夫等ノ科モ。輕キハ百日以下ナレバ。其百日以下ニ當ル罪ハ。華士族ノ名義

ヲ取上ル。除族許リノ科トスルナリ。若シ又一
 年以上ニテ。除族ノ上。若干ノ懲役ニ當ル科ナ
 レバ。其滞獄ノ日數ヲ。前ノ仕方ニテ數ヘ。餘ル
 日數通り。科ヲ免サヌナリ
 凡犯罪存留養親者。本罪百日以下ハ。滞獄日數ヲ
 扣除シテ。剩ル日數ヲ收贖シ。一年以上ハ。滞獄百
 日ニ滿レバ。扣除シテ。剩ル日數ヲ收贖ス。若シ百
 日ニ滿サレバ。其未滿ノ日數ヲ第五條ニ照シ。捧
 鎖ニ處シ。仍ホ剩ル日數ヲ收贖ス。
 註 七十歳以上ト。痲疾篤疾アル。祖父母父母ア

リテ。家ニ養フベキ子孫ナケレバ。罪アル者ヲ
 收贖シテ。家ニ還シテ。養ハシムルヲ。存留養親
 ト云フ。此者ノ原ノ科。百日以下ニテ。滞獄三十
 日ヲ過レバ。其過タル日數ヲ取り去リ。剩ル日
 數ヲ金數ニ贖ハセ。又一年以上ノ科ニテ。百日
 滞獄スレバ。其日數ヲ差引テ餘リノ日數ヲ贖
 ハシム。百日未滿ノ滞獄ナレバ。改定律例第五
 條ニ照シ。捧鎖ノ科申シ附ケ。餘リノ日數ヲ。金
 ニテ贖ハシム。
 凡過失殺傷收贖。及ビ養贍埋葬金若クハ盜贓賠

償等ハ各本法ヲ盡シ此例ヲ用ヒス。

註

手過チニ依テ殺傷セラレタル者へ贈ルベキ金ト盜賊ノ事ニ就テノ償ヒ料等ハ其律通リノ擲キニテ此例圖ニハ依リガタシ。

名例律

官吏犯公罪條例

第二百九十三号御布告
明治六年八月九日

凡教導職公罪及ビ過誤失錯之罪ヲ犯ス者奏任以上ハ華族贖罪例ニ依リ判任ハ士族贖罪例ニ依ル其私罪ヲ犯ス者ハ一體ニ聞刑ニ處ス

註

教導職ハ教部ノ教職ナリ公罪トテ公用ニ

不調法シタルト過誤失錯ノ心ナキ手過チアレバ奏任以上ノ職ニアル者ハ改定律首卷ニ

見ハタル華族贖罪例ニ照シ合セテ罪ヲ定メ

判任ノ教導職ナレバ改定律例第十七條ニ引

該ルナリ其教導職ニ於テ公用ニ附キ心アリ

テ罪ヲ犯シタル私罪アレバ奏任以上ニテモ

判任ニテモ同様ニ改定律第一卷ニ見ハタル

改正聞刑律ニテ科ノ處分アルナリ

官吏犯公罪條例

第四十六号御布告
明治七年四月二十三日

凡官吏公罪ヲ犯シ罰俸ニ該ル者刑名宣告ノ後

ニ。昇官スルルキハ。原官等級ニ依リ。降官スルルキハ。降官等級ニ依テ。其俸ヲ追ス。

註 刑名ハ。科ノメヤスナリ。宣告ハ。申シ渡シナリ。假令バ。官吏ニ。公罪ノ科アリテ。懲役三年ノ罰俸三月ヲ。其半ニ割リ。六ヶ月ニ追徴スルルキ。四ヶ月過テ。官一等ヲ昇進ストモ。原任ノ官十等ナレバ。十等級ノ半ヲ領置ス。若シ又十等官ノ者。十一等ニ降レバ。其月ヨリ十一等ノ給ヲ追徴ス。

同僚犯公罪條例改正

第四百三十四号御布告
明治六年十二月二十八日

第七十六條 凡府縣官吏ハ。知事。及ビ令ヲ長官ト為シ。参事ヲ判官ト為シ。屬ヲ主典トナス。其公罪ヲ犯ス者ハ。此例ニ依リ。遞減シテ罪ヲ科ス。

註 總テ。律ノ上ニハ。官吏ヲ四等ニ分ツナリ。是ハ普通ノ官等ニモ非ズ。又普通ノ官名ニモ非ズ。其四等ハ。長官。次官。判官。主典ナリ。長官ヲ一等トシ。次官ヲ二等トシ。判官ヲ三等トシ。主典ヲ四等トス。院省使ノ官吏ハ。各此四等ニ配當セシ條スレド。此條ハ。府縣官吏ヲ四等ニ配當セシ條例ノ改正ナリ。府縣官吏。公用ニテノ手過チ出

來スレバ。罪ヲ三等ニ定メ。其過チタル官吏ヨ
リ。一等ゾ、減ジテ。科ヲ割付ルナリ。假令ハ。判
官ノ過チナレバ。長官ハ一等ヲ減ジ。主典ハ又
一等ヲ減ス。又主典ノ過チナレバ。判官ハ一等
ヲ減ジ。長官ハ又一等ヲ減スル類ナリ。減ジ盡
シテ科ノ受ベキナキハ。ナキニテサシカマヒ
ナシ。

凡正贓轉輾シテ。遠地ニ在ル者。其郵遞費用ハ。本
犯ニ償ハシムト雖。本犯資力ナケレバ。本主ニ
給沒贓物條例
第百七十四號御布告
同年七月廿四日

償ハシム。若シ本主郵遞ノ經費ヲ厭フ者ハ。正贓
所在ノ地ニ於テ。其物品ヲ販賣シ。金圓ヲ本主ニ
還給ス。

註 正贓轉輾ハ。盜ミシ賊ノ手ヨリ。段々人ノ手
ニ渡リテモ。盜ミシ品。其儘アルヲ云。此贓物輾
轉シテ。遠國ニ渡レバ。送リ返スベキ。陸運等ノ
入費ハ。本犯ノ盜ミシ者ヨリ。出サシムベケレ
氏。其者資財ナケレバ。盜マレ主ヨリ。取立ルナ
リ。然レハ盜マレ主ノ了件ニテ。其地ニ於テ。賣
拂フベキ處存ナレバ。其土地至當ニ賣拂ヒテ。

代價ヲ賜ルナリ。

再犯加等罪例條例第二百六十七号御布告

凡^オ監守^カ及^ビ常人^ジ盜再犯^スル者^ハ。竊盜^ト同^ク。並^ニ

後犯^ノ本罪^ニ。一^等ヲ加^ス。

註 監守盜ハ。改メ役ト。預リ役ノ身分ニテ。其改

メ預ル品ヲ盜ムヲ云フ。常人盜ハ。監守ノ役ニ

非ザル者ノ盜ムヲ云フ。此監守常人ノ律ニハ。

再犯ノ條例ナシ。故ニ本條竊盜已ニ官司ノ斷

決ヲ經テ。再ビ犯ス者ハ。後犯ノ本罪ニ一^等ヲ

加^ス。其贓ヲ計ルハ。初犯ノ贓ニ通算シテ。科ス

ル^ト得^ズ。若シ初犯ノ罪赦前ニ在ル者ハ。再

犯ト雖^モ。仍^ホ初犯ヲ以テ論ズル箇條ト。改定

律竊盜條例。第百三十六條ノ。再犯シテ。時ヲ得

ザル者ハ。律ニ依リ。一^等ヲ加^スト云ヘル箇條

ト。同^シ科ニスルナリ。後犯ノ本罪ニ一^等ヲ加

フトハ。假令^ハ初犯ナレバ。懲役百日ニ該ル科

モ。再犯ノ時ハ。懲役一年ト為スヲ云フ。

改定律例第十六條中改定第四十三号御布告

改定律例第十六條中。附籍ヲ入籍ニ改メ候事。

改正閏刑律中改定第六十九号御布告

改正閏刑律中。禁錮ヲ禁獄ニ被改候此旨布告候事。

今般禁錮ヲ禁獄ニ改メラレ候ニ付テハ。獄舎ノ儀ハ。從來ノ牢獄ト。振合モ相違ニ付。即時新築相成兼候。都合モ可有之。追テ獄舎建築法及ビ獄則等。御達シ迄ハ。私宅内ニ於テ。禁獄ノ振合ヲ以テ。一室ニ締リ相付ケ。濫リニ出入等無之様。處置可致置。最モ罪名ノ儀ハ。即今ヨリ引直シ。本犯へ可相達候。七年七月十四日司法省第十六号布達

官吏犯公罪條例

第百十七号御布告
同年十一月四日

神官ノ公私罪ヲ犯ス者ハ。並ニ教導職犯罪例ニ依ル。

註

公用ニ付キ。不調法シタル科ナリ。私罪ハ。公用ニ付キ。心アリテ罪ヲ犯シタルナリ。此公罪私罪ヲ犯ス神職ハ。本年第二百九十三號ヲ以テ。御布告アリシ教導職ト。同シ擧方ナリ。戸婚律

改定律例第百八條刪除

第二十九号御布告
明治七年三月十四日

改定律例第百八條。刑法ニ關係無之ニ付刪除候事。賊盜律

監守盜條例 明治二百六十七號 御布告

凡監守盜再犯スル者ハ。財ヲ得ズト雖氏。一尋ヲ加フ。三犯三十圓以下。懲役終身。三十圓以上。絞。

監守自盜條例 第三百四十九號 御布告 同年十月十七日

凡監守自盜財ヲ得ザル者ハ。懲役六十日。

註 監守自盜ハ。我が預リ目附ラスル品物ヲ。自

ラ盜ミ取ルヲ云フ。其監守自盜ヲナシテ。未ダ得

ザルモ。証據分明ナレバ。六十日ノ懲役ヲ受ル

ナリ。

常人盜 第二百六十七號 御布告 同年七月二十四日

凡常人盜再犯スル者ハ。財ヲ得スト雖氏。一尋ヲ加フ。三犯四十圓以下。懲役終身。四十圓以上。絞。

強盜條例 第二百六十九號 御布告 同年七月廿四日

凡強盜脅誘セラレ。畏懼隨行。二次ニ及ブ者ハ。本

律ニ依テ科シ。戒等ノ例ヲ用ヒズ。

註 強盜ハ。公然ト門戸ヲ破リ入テ盜ム者。及ビ

斬リ取り。追ヒ剥モ。此内ナリ。脅誘ハ。強テ誘引

セラルハナリ。畏懼隨行ハ。其勢ヒニ恐レ。餘義

ナク。後ニ附キ隨ヒ行ナリ。其畏懼隨行モ。兩度

ニ及バハ。改定律第百二十九條ニ見ハタル。室

ニ入り。贓ヲ分ツ者ハ。本犯ニ二斗ヲ減ズ。若シ
室ニ入ルト雖。贓ヲ分タズ。及ビ止ダ外ニ在
テ瞭望シ。財物ヲ接遠スル者ハ。贓ヲ分ナ。分
サルヲ論ゼズ。並ニ三斗ヲ減ズト云ヘル。例ハ
引カタシ。皆本犯同様ニ。當然受ケ可キ。強盗ノ
科カ、ルナリ。二次ト。再犯トハ。異ナリ。再犯ハ
其事露顯シテ。仕置濟ノ上。又科ヲ犯シタルナ
リ。二次ハ露顯セヌ内ニ。兩度行ヒシナリ。

竊盜條例

同第 二百六十六號 御布告
年 七月廿三日

凡竊盜四犯財ヲ得ル者ハ。贓ノ多寡ヲ論ゼス。懲

役終身

註 竊盜シテ。一度露顯シテ。科ヲ受ケ。又露顯シ。

總テ四度露顯シテ。財ヲ盜ミ取リタルハ。贓ノ
多少ニカマハズ。其科ヲ懲役終身ト為スナリ。

盜賊窩主條例 同第 二百二十七號 御布告

凡竊盜ノ窩主。再犯以上ニ係ル者ハ。律ニ照シ。造
意不造意同行不同行分贓不分贓ヲ分ナ。並ニ犯
數ニ計ヘ。竊盜ト同ク罪ヲ治ス。

註 人目ヲ忍ビテ。盜ム竊盜ノ。宿シタル窩主ハ。
一度露顯シテ。其科ヲ請タル後ニ。又同シ宿ヲ

シテ。露顯スレハ。其露顯スル度毎ニ。科ヲ加ル
ハ。竊盜セシ者ト同ジナリ。其科ノ次第ハ。造
意メバ。其身トモニ賊ヲ行ハスト雖也。但夕賊
物ヲ分テハ。發頭人ト見做スベシ。若シ自ラ行
ハズ。又賊物ヲ分タザルハ。從ト見做シ。其時主
意シテ。盜ヲ為ス者ヲ以テ。發頭人ト為ス。其窩
主造意セズ。俱ニ賊ヲ行ヒテ。財ヲ分タザルト。
同ク行ハズシテ。賊ヲ分ツ者ハ。仍ホ從ト見做
スベシ。若シ行ハズ。賊ヲ分タザル者等ヲ。律文
ニ引合セ。分別シテ。再犯ハ一等ヲ加ヘ。三犯ハ

又一等ヲ加ヘ。其盜メル所ノ賊ノ數ヲ計ヘ。例
圖ニ引該テ。竊盜者ト同シ罪ニ該ルナリ。

受賍律

官吏受財條例

第百六十號 御布告
同年七月廿日

凡枉法不枉法ヲ以テ論シ。及ビ。准シテ論スル罪
平民ハ。等外人ト同ク。罪ヲ科ス。

註

枉法ハ。捉テ枉テ。依怙ナル事ヲナシ。賂ヒ杯
取ルナリ。不枉法ハ。捉テ枉ゲザレ也。依怙ナ
ル事ヲ為テ。賂ヒ杯取ルニテ。元來官吏ニ係
リタル律ナレ也。平民ニテ。枉法不枉法ニ。類シ

タル事アレバ。官吏ノ科ニ引該テ。各一寺ヲ減
シタル。等外人ト。同様ノ捌キヲ受ルナリ。故ニ
以テ論ジト云ヒ。准ジテ論ズト云フ。以テトハ。
真ニ其律ヲ犯セルニハ非ザレハ。情同ジキハ
云ヒ。准ズトハ。犯セル罪ト。少シ違ヒアレハ。其
ハセシ事ハ關涉アレバ。其罪ヲ其擬ニ合スル
事ヲ云フ。論ズトハ。論決シテ。捌キスルナリ。
詐偽律

偽造寶貨條例

第二百三十一号御布告
同年六月

凡紙幣ニ印スルニ漏印及ビ倒用スル者ハ。一
張

ニ。懲役十日。三張毎ニ。一寺ヲカヘ。罪懲役七十
日。止ル。若シ檢査官吏朦朧交收スル者。罪亦同。

註

紙幣製造ノ時押スヘキ程ノ印
ヲ漏ラシ。又ハ倒サマニ押シテ。心附カズ。檢査
ノ官吏ヘ。差出セバ。紙幣一張ヨリ。三張マデハ。
懲役十日ノ科ヲ申シ渡スナリ。夫ヨリ多クケレ
バ三張毎ニ科十日ツ、ヲ増シ。十八張ナレバ。
六十日ノ科ヲ該テ。夫ヨリ數多キハ科一寺ヲ
加ヘテ。七十日ニ至ルヲ留リトスルナリ。又其
紙幣ヲ改メ請取ル。檢査ノ官吏モ。朦朧トウツ

カリノ。取收タルノ罪モ。亦其職人ト同ジク。
偽造斛斗秤尺條例
第二百七十九号御布告
同年八月二日

凡斛斗ノ邊縁ヲ増補シ。秤量ノ標星懸紐ヲ變換
シテ。利ヲ圖ル者ハ。懲役一年半。情輕キ者ハ。不應
為律ニ問ヒ。輕重ヲ分ツ

註 大并小并ノ縁リ等ヲ。知レヌ様ニ修理シ。買
入レ賣出シニ。徳分アル様ニ仕為シ。或ハ秤リ
ノ星ヲ置キ改メ。懸ケ紐ヲ取り換ヘテ。目方ニ
輕重ヲ生セシメ。奸利ヲ巧ム者ハ。一年半ノ懲
役ナレ氏。右ノ科ハ。犯シタレ氏。深キ巧ミアル

ニモ非ズ。サシテ。大害モ為サツル。鳥渡シタル
出來心位ノ事ナレバ。不應為ノ律ニ引談テ少
シ科ノ重キハ懲役七十日。輕キハ懲役三十日
ニ。取り擲クナリ。

犯姦律
犯姦條例
第三百四十九号御布告
同年十月十七日

強姦死ニ致ス者ハ。斬

註 強姦ハ。合點セヌ女ニ。無理ニ通スルヲ云フ。
死ニ致スト。死ストハ。別アリ。致スハ。死ス心掛
ハナケレ氏。強姦ニ依テ死シタル事ナリ。

犯姦條例

第百七十三號御布告
同年七月廿八日

凡妻妾ヲ縦容シテ人ト通姦セシムル者ハ本夫
姦夫姦婦各懲役一年。因テ財ヲ圖ル者ハ枉法ニ
准シ。重キニ從テ論ズ。

註

縦容ハ自儘ニ許スヲナリ。通姦ハ密通ナリ。
若シ密通セシメテ姦夫ヨリ財物ヲ取ルベキ
主謀アレバ前條ノ註ニ見ヘタル如ク准法ヲ
用ヒ。枉法ニ引ツケテ論決スレ氏。枉法ハ贓物
ノ金高ニ依テ輕重アル故ニ本罪ト較ベ合セ
テ重キ方ニ取り捌クナリ。

改正居喪犯姦律

第百七十四號御布告
同年七月三十日

父母舅姑夫ノ喪ニ居リ姦ヲ犯ス者ハ各凡姦ニ
一等ヲ加フル律ヲ改メ。父母舅姑ノ喪ニ居リ姦
ヲ犯ス者ハ凡姦ヲ以テ論ジ。夫ノ喪ニ居リ姦ヲ
犯ス者ハ有夫ヲ以テ論ス。相姦スル人ハ並ニ
同罪。

註

改定律例。第百六十四條ヲ改テ。父母舅姑
ノ喪中ニ密通スル者ハ凡姦ノ罪ニ科セラル。
此凡姦トハ處女ニテ尋常和姦ノ律ナキニヨ
リ。夫ト有ル者ノ和姦懲役一年ノ事ト知ラル

可シ。叔父母。舅姑ノ喪ニ居リナガラ。哀ミヲ忘
レ。婦事ヲ縦マ、ニスル者。故ニ此罪ニ科セラ
ル、所以ナリ。又人ノ妻タル者。タトヘ夫死去
ノ後ナレバトテ。未ダ忌服モ濟マヌ内。此婦事
ヲスル者故。夫存生中ト同ジク。懲役一年ノ罪
ニ科セラル。其喪中タルトテ知テ。密通スル男
ハ。皆同罪トナルナリ。

雜犯律

失火條例改正

第二百九十九号御布告
同年八月十二日

第二百七十五條 凡火ヲ失シテ。人ヲ燒死ニ致

ス者ハ。死屍ノ多寡ヲ論ゼズ。一等ヲ加フ。其同居
一等親ノ尊長ヲ燒死ニ致ス者ハ。懲役百日。二等
親以下ノ尊長ハ。各一等ヲ遞減シ。卑幼ハ。各等親
ニ照シ。尊長ニ三等ヲ減ス。減シテ罪致人燒死律
ヨリ輕キ者ハ減ゼス。其各居ニ係ル者ハ。等親尊
卑ヲ論ゼズ。並ニ致人燒死ト罪同。

註 失火ハ。ワザトデナク。火事ヲ出シタル事ナ
リ。其火事ニヨリテ。燒死シタル人アレバ。多人
數ニテモ。一人ニテモ。尋常ノ失火ヨリ。科一等
重クナルナリ。假令バ。我家ヲ燒タル科ハ。懲役

二十日ナレバ。焼死タル人アレバ。懲役三十日。他人ノ家マデ。延焼シタル科ハ。懲役四十日ナレバ。焼死タル人アレバ。懲役五十日トナル。如シ其失火人ニ。同居シタル一等親ノ内尊長トテ目上ノ人焼死ネバ。懲役百日。二等親三等親ト。段々一等ヅ、下リテ。科ヲ受ルナリ。卑幼トテ。目下ノ者ナレバ。其尊長ノ者焼死タルヨリ。三等ヅ、科ヲ減ス。假令バ。一等親ノ卑幼焼死ネバ。懲役七十日。二等親ノ卑幼ナレバ。懲役六十日トナル。但シ減シテ。四等親ノ卑幼ナレバ。

懲役四十日ノ科ナリ。他人ノ家ヲ延焼シテ。焼死ニ致シタル律ヨリ。一等輕クナル故ニ。引較バテ同ジ五十日ノ懲役トスルナリ。若シ失火セシ者ト。別宅シタル者ハ。平常ノ人ヲ焼死ニ致シタル律ト。罪同ジ。是ハ失火ハ。手過チ。或ハ心附カガル不時ノ事ユヘ。掛ケ離レタル場所ハ。助ケ救フベキ。暇ナケレバナリ。

捕亡律

徒流人逃條改正

主守及ビ押解人罪囚ノ逃走ヲ覺ラザル者ハ。一

第十六号御布告
明治七年二月七日

己知律増加條例註釋

名ニ。笞四十。一名毎ニ。一等ヲ加ヘ。罪杖一百ニ止ルノ律ヲ改メテ。未決ノ罪囚ト同シク。主守不覺失囚律ニ依ル。

〔註〕 綱領ノ。徒流人逃ノ中第三條ニ。罪囚逃走ノ人數ヲ計リテ。罪名ヲ加ルノ律ヲ改メテ。主守不覺失囚律ノ。若シ未ダ斷決セザルノ間自ラ捕獲シ。及ヒ他人捕得シ。若クハ囚已ニ死シ。及ビ自首スレバ。各一等ヲ減ズト。云ヘルニ依ル。

改定律增加條例註釋終

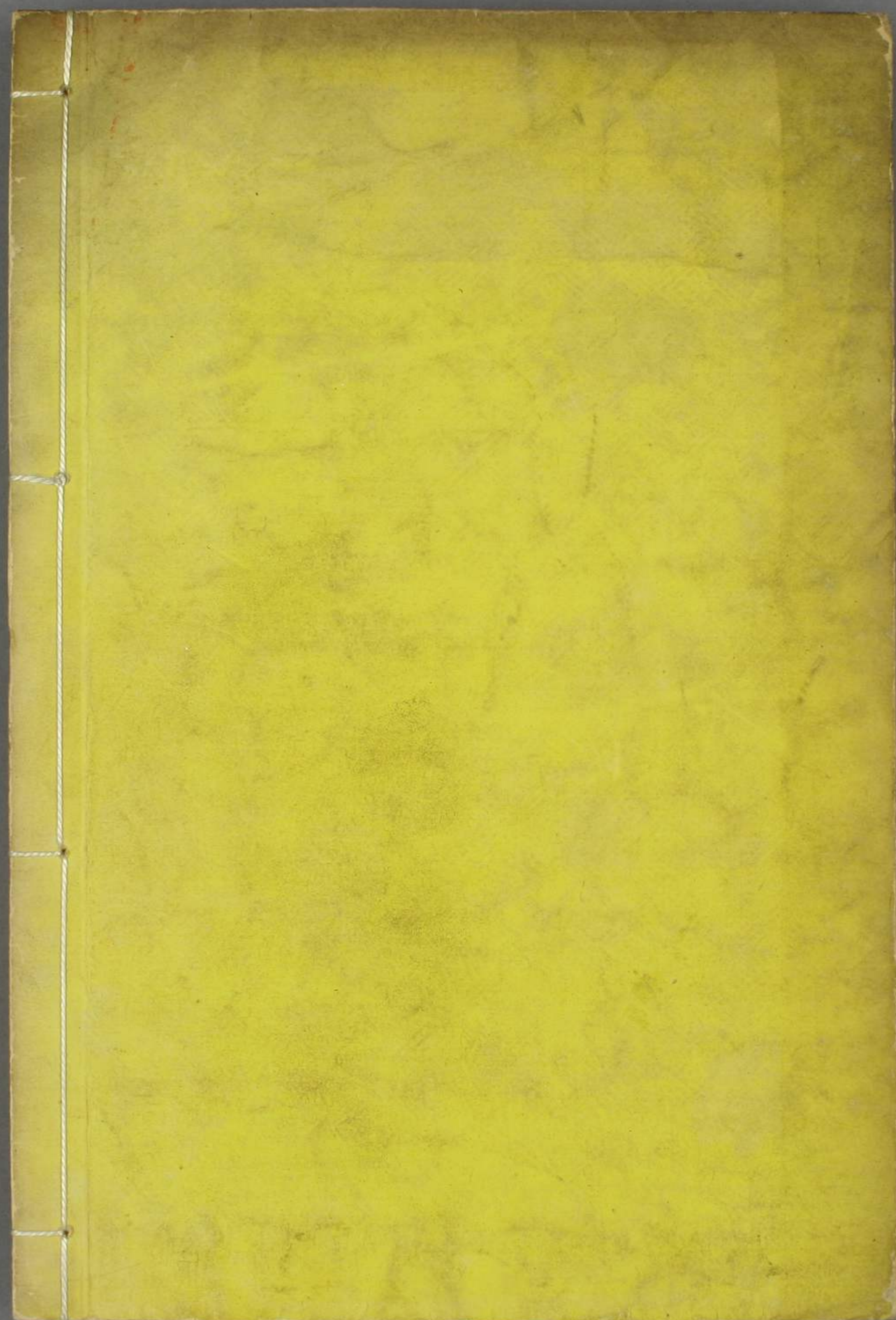
近藤圭造訓註

明治七年第十二月刻成

東 北畠茂兵衛

小川半七

京 坂上半七



近藤圭造訓註

改定律增加條例註釋

明治八年第一月刻成

